



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2006 5

Bulletin

2006. 5. 1. 発行
第23巻 第11号 通巻274号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒606-8303 京都市中京区三條橋南東角
電話 (075) 231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1983

クラブ主題

思いやる気持ち

国際主題 「求めるワイズから 行動するワイズへ」 "Be Y'smen in Deed not Y'smen in Need"	Benson Wabula (ケニア)
アジア主題 「行動するリーダーになろう」 "Lead by your own Action."	Janet Siew (シンガポール)
西日本区主題 「すすめ、愛と勇気をもって」 "Go Forward with Love and Courage"	佐野文彦 (西日本)
京都部主題 旬 (Shun)	古田 裕和 (京都トッポビー)
メネット主題 愛を追い求めなさい！ 愛は家庭から、そしてワイズ、地域社会へ	菅 美代子 (熊本ひがし)

会長/竹田 博和
副会長/石倉 尚
田中 雅博
書記/藤本 純夫
会計/菅原 健一



聖句 ご存じのとおり、わたしはこの手で、わたし自身の生活のためにも、共にいた人々のためにも働いたのです。

(使徒言行録 第20章34節)



楽しく例会 — クラブ発展の基本

ドライバー委員長 森 常夫

今期ドライバー委員長に任命された時に又ドライバーかと思いましたが、思い直して計画を立ててみましたが、なかなかよい案が浮かびません。開き直って考えてみました。素晴らしい委員に任せればよいと思いました。

ただ楽しい例会と、為になる例会は真剣に検討しました。キャピタルの運転手は僕で車掌は委員、お客はキャピタルクラブ員、考えを切り替えて運営しました。

納涼例会、花見例会、新年例会は思い切り楽しみ、講師を招く例会は為になる例会として努力いたしました。新入会員が理解してもらいキャピタルクラブに入会して良かったと思っていただけたでしょうか？ 少し不安が残っています。

残り2ヶ月私なりに話させていただきます。入会して17年、会長、委員長、主査、平成2年8月に15名のコミットを韓国へ引率した事等、僕の人生で一番勉強させていただいた期間でした。クラブでは、おじいさんですが若いクラブ員達に負けない体力とバイタリティーで今後のキャピタルクラブに貢献し、今後の人生をワイズメンの皆さんと大いに楽しく活動していきます。

又若いクラブ員の皆さんが楽しく YMCA の行事に参加されて活躍していただいて先輩として頼もしい限りです。今後のキャピタルクラブの発展は年齢に関係なく活動している現在が持続する事だと信じます。今後も皆さんのご指導の程よろしくお願い致します。

西日本区
強調月間

5月 LT

ワイズリーダーは、クラブ・部・区レベルの如何を問わず全員が事前に十分な研修を受け、任務の遂行に努めなければなりません。もう一度国際憲法・西日本区定款などを読み直しましょう。
佐野文彦理事

4
月
報
告



例会出席

在籍者数	29名
広義会員	1名
第一例会	26名
ゲスト	2名
第二例会	25名
出席率	93%



BFポイント

切手	0g
現金	0円
累計切手	0g
累計現金	0円
JWF	0円
JWF累計	0円
FF累計	27,000円



ニコニコ

第一例会	6,000円
第二例会	5,000円
累計	196,000円



ファンド

第一例会	0円
第二例会	0円
累計	903,570円



献血

献 血	0cc
成 分	0名
累 計	0cc
成分累計	0名



125周年
募 金

第一例会	2,559円
第二例会	3,509円
累計	62,966円

—— 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手収集 ——

4月第一例会

学生気質に危機感

豊田 貴志



2月にキャピタルに入会させていただいてから、5回目の例会。少しずつメンバーの方のお顔と名前が一致し、例会の次第もわかり始めた中、ブリテンの例会報告の記事を書くことになりました。

4月の第一例会では同志社国際中等学

2006年4月4日(火)

於 ウェスティン都ホテル京都

校教諭の林昌一郎氏が「ラグビーとの出会いそして帰国子女との出会い」と題して講演していただきました。現役時代のお話や指導者としてのエピソード等、私も同志社OBですのでとても楽しく聞くことができました。

後半の教師としての現在の生徒に対する感想の中で、アルバイトに没頭する学生が増えていることへの危惧を話されていましたが、私も全く同感で小遣い稼ぎのために一度しかない学生生活をアルバイトで費やすよりも、クラブや勉強等に勤しんでほしいと思いました。いずれにしても現在の教育問題だけではない部分も多々あると感じました。

4月第二例会

YMCA とキリスト教

香山 章治



桜が散りはじめて少しさびしさを覚えるこの時期ですが、その反面新緑の若葉が芽生え、元気と活力を感じるすばらしい季節がやってきました。4月18日、YMCA サービス・ユース事業アワーということで、日本キリスト教団京都丸太町教会佐藤博牧師

をお招きし、「YMCA とキリスト教」という演題でお話をいただきました。まずは大山Yサ委員長より、イエスキリストとワイズメンズクラブとのつながりについてのガイドラインを説明していただき、佐藤牧師のプロフィールを紹介されました。

2006年4月18日(火)

於 ウェスティン都ホテル京都

続いて、佐藤牧師の講演がはじまり聖書の中身について例題を用いながらお話いただきました。

『私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である』というテーマに沿ってお話されましたが、神から人間がつけられる間には枝があり、その枝から養分を吸収し、そしてその枝は単なる枝ではなく切断すると意味をもっており、切断すなわち独立することによって豊かな実を結ぶというようなお話でした。

私はクリスチャンではなく、キリスト教に関しては無知で興味もなかったのですが、このお話を聞いて宗教の尊さ、哲学の部分ではその宗教をこえた統一性がやはりそこにはあるものと感じました。私にとっては非常にレベルの高いお話であり、慣れない言葉でイメージがわきにくい部分がありましたが、私なりにキリスト教にふれられた時間がもてたことに感謝します。ありがとうございました。

ファンド

京都で温泉気分

ファンド委員長 村田深砂子

4月22日(土)京都駅前のハトヤ瑞鳳閣にてファンド事業の今期最後のイベント「京都で温泉気分」を開催致しました。

10名以上参加がないと盛り上がらないと心配していましたが、おかげさまで11名の方々に集まっておりました。当日までは、忙しいからそんなに早く行けない...等の声を聞いておりましたが、ゴルフ帰りの石倉さん、香山さんより3時30分頃今から行くからお風呂は入れるようにしておいて!との電話。私も仕事を終え5時に行くと森さんを加え3人がお風呂上りに浴衣でビール!すでに温泉気分を満喫しておられました。

その後皆さんどんどん来られ、お風呂に入って浴衣に着替えビールに日本酒、オセロで対決! 囲碁で対決!(2段の大山さんに自称2級の森さんが囲碁でコテンパン! 森さんリベンジとオセロで対決! またまたコテンパン!)と楽しい時間を過ごしいざ宴会へ!

宴会では舞台上でカラオケ! 浴衣姿の柳さんが演歌を絶唱! 大山さんも青春時代を熱唱! いつもの宴会とは一味違ってほんとに「温泉気分」でした。

途中にこわ~い話もありましたが、最後はみんな一致団

結! やっぱ浴衣姿は「裸の付き合い??」でしょうか(ちなみに私は添乗員風にスーツです)。2次会へ! と旅館のスナックに全員で行き



(まだ浴衣姿若干名)カラオケ三昧! 気がつけば午前0時を...

旅館に長い人で8時間程滞在。温泉気分は大成功でした。参加できなかった11名の方からも不参加ファンドに参加していただき本当にありがとうございました。

最後になりますが、1年間委員長をさせていただいて感じたことがあります。それは案内の返事を待つ身になって初めて感じたことです。返事は必ずいただきたい。出席なのか欠席なのか...。今まで私自身ちゃんとできていたかどうか...。少しの反省と皆様へのお願いです。でも何はともあれ全計画が終了し、予算も大幅に達成し大変お世話になりました。

参加者 石倉・大山・香山・大門・竹田・森・柳・山田(隆)・山田(英)・山口・村田

不参加ファンド 石村・内廣・岡島・岡本・瀬本・田中・橋本・八木・吉井・豊田・金原

あなたの第二の人生は？

瀬本 純夫

第2の人生って

ふと何かの拍子に考えてみたりすることがあったような気もするが、さて、それを言葉にしてみようとする、これといったものがすぐには浮かんできません。

今を第1の人生とするなら、やっぱり仕事を辞めてもよくなった時からが、第2の人生のスタートなのかなって思っています。辞めざるを得なくなったとか、辞めさせられるのではなくね。そこにはどんな自分がいて何をしているか、想像してもありきたりな事ばかりが浮かんできます。とにかく、元気で、健康で、何に対しても興味を持ち続けられれば、そんなありきたりの想像も充実したものになると思っています。あれもしたい、これもしたいと想像の中では夢が膨らみます。

たとえば、舞鶴にある家を建替えるとか、リフォームし、そちらと京都に生活拠点を置き、のんびりと、ゆったりと、楽しく過ごしたいものです。田舎に飽きたり、人恋しくなれば京都に帰る。そんな感じかな。ささやかな望みですかね。

金原 弘明

今回のテーマである「第二の人生」は私にとっては第三、いや第四の人生のことかもしれません。

3年前、サラリーマンを辞めるときに思ったのです。これから第二の人生が始まる…。

今現在、サラリーマン時代との大きな違いは、仕事に対する感謝と責任感という意識的な違いです。サラリーマン時代には殆ど抱いていなかった仕事に対する感謝の気持ちを持つようになり、また、当時は十分だと思っていた仕事に対する責任感も、現在とは比較になりません。仕事に対する意識は明らかに、大きく変化したこの3年間でしたが、さて、日々の生活が第二の人生と言えるほどの劇的な変化があったのか、という疑問です。

これが第二の人生と言えるかどうかはわかりませんが、これからも失敗を恐れず、挑戦し続けていきたいと思っています。

そして、私にとって第 1 の人生になるかはわかりませんが、他のワイズの皆様が言われるような「第二の人生」を送れるようになれるとしたら、家族みんなで楽しみたいと思います。最も迷惑をかけている人に、一杯の恩返しができるようになったとき、それが私の本当の第二の人生ではないかと思えます。

菅原 樫一

心の持ち方を変えていく人生

私は昭和22年生まれ。団塊の世代ど真ん中。2007年問題とかで、社会・経済に影響を与えようとしている世代の一人です。定年後の悠々自適の第二の人生。私の場合そんな余裕は無く引き続きアクセク働かねばならない状態です。

しかし、60年は確かに一区切りです。このごろになってようやく、ありのままの自分の姿がチラチラと見え始めてきたように思います。

今、自分あるのは、過去、現在の周りの皆さんのお世話と支えがあったからではないのかなと。

60年の区切りの終り近くに、ワイズメンズクラブと関わらせていただいたことを有り難く思います。皆が楽しく喜べる、その為に少しでも役に立ちたい。心底そう思えるよう、心の持ち方を変えていく第二の人生を歩みたい。

夜桜フェスタ

山口 雅也

さる4月23日(日)リトリートセンターにて恒例の「夜桜フェスタ」が開催されました。我々キャピタルクラブは『飲み物担当』ということで、ジュースやビールの冷たい飲み物から、本格コーヒーや熱燗などの温かい飲み物まで、メンバーの精力的な協力のもと、にぎやかに販売をしました。

午後7時には桜のライトアップも行なわれ、夜空に浮かび上がる満開の桜といたいところでしたが、5分~7分咲きのそれでもきれいな桜を愛でながら、川柳コンテストやステージでのパフォーマンスなどを十分に楽しみました。

他のクラブも、から揚げや焼そば、ワインコーナーや昔なつかしい「スマートボール」のコーナーもあり、子供も楽しめる内容でした。キャピタルクラブのお店では、山田英樹Yサ副委員長を先頭に、竹田会長・大門副会長も熱心に店頭で販売しておられましたし、金原新Yサ委員もずっとコンロの前に詰めて、

コーヒー販売にがんばっていた姿が印象的でした。買出しなど前日までの準備、そして当日のあとかたづけまで遅くまでご尽力いただきましたYサ委員会の皆様大変お疲れ様でした。また、今後のリトセンの行事にも参加していきたいと思えます。



ごめんなさい

4月号に誤りがありました。

1頁 3月報告 BFポイント

E F 27,000円 F F 27,000円

2頁 3月第一例会報告 石倉さんの記事

今期主任大石氏 今期主任大谷氏

初めてのワーク

金原 弘明

4月9日(日)快晴、サバエ教育キャンプ場において、井戸掘りワークが行われました。私にとっての初めてのワーク、ときどきしながらサバエに向かいました。

このワークは京都クラブ、ウイングクラブ、キャピタルクラブの3クラブ協同という形で行われ、各クラブのメンバーと共に、工事会社のミツケンさん、主事の方及びリーダーと総勢約35名でのワークとなりました。

井戸掘りワークはサバエキャンプ場内を障害者の方が車椅子で行き来し易いように植えた芝生へ散水するための水を、井戸水で賄えるようになればとの主旨で開催されました。

山田英樹さんと金原のキャピタルチームは京都クラブチームと共に水道管を埋設する作業を担当。穴を掘り、水道管を埋めていくのですが、日頃運動をしていない私にはかなりの重労働で、大変こたえました。

しかしながら、初めて会った京都クラブの皆様へ助けられ、昼休みには京都クラブやワークの歴史を聞かせて頂き、フィフティキャビンを見学させて頂く等、貴重な体験をさせて頂きました。

ワイズとは何か、奉仕とは何か、少し学んだ気がします。結局当日は井戸から水が上がってくることは無かったのですが、心地よい疲れと、少しだけの自己満足を感じながら帰途につきました。

それから約一週間後、大山さんのもとに「井戸から水が出た」との報告が届き、更に喜びと満足に満ちたワークとなりました。

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

山口 雅也 5.10 山田 隆之 5.13

大門 和彦 5.31

メネット

勝山 憲子 5.3 堀 明美 5.10

コメント

岡村 健太 5.2 大門 勇斗 5.8

HAPPY ANNIVERSARY

森 常夫・絹代 ご夫妻 5.8

菅原 樞一・由利子 ご夫妻 5.15

瀬本 純夫・吉美 ご夫妻 5.17

5月・6月予定抄

5月10日(水) 第1例会 CATT 合同例会

5月21日(日) チャリティーラン

5月23日(火) 第2例会

5月30日(火) 役員会

6月3日(土) 4日(日) 東日本区大会

6月6日(火) 第1例会

6月10日(土) 11日(日) 西日本区大会

6月17日(土) 引継例会

6月20日(火) 役員会

聖句の解説 YMCAは、とかくボランティアな団体であることが強調されますが、はじめは相互扶助でありました。そこから、人間としての生きる権利を獲得するという参加重視型の運動の過程で、「弱いものを助けるように」、「受けるよりは与える方が幸いである」というキリストの愛が実践に移されるようになりました。このように共に生きるための運動が、YMCA運動のベースであると考えています。

第13回 役員会議事録

2006年4月25日(火)19:00~21:00
ウエスティン都ホテル京都

<報告事項>

西日本区

- ・IHQ 移転の件 否決 反対389・賛成186
- ・西日本区大会 6月10日~11日 名古屋国際会議場
- ・東日本区大会 6月3日~4日 仙台国際センター
- ・Yサ アンケート集計

京都部

- ・Y.Yフォーラム 5月13日(土)『きらきらひかる』
- ・京都 YMCA スイミング競泳チームの中学生チャリティーラン出場の件

三役会

- ・シングルHA 5月第2例会にて記念品

YMCA

- ・夜桜フェスタ 4月23日(日)
- ・チャリティーラン 5月21日(日)

<各事業委員会報告>

- Yサ・ユース
 - ・夜桜フェスタ 報告
 - ・チャリティーラン 協賛のお願い

ドライバー

- ・第1例会 10日 CATT 合同例会 ホテルニュー京都
- ・第2例会 23日 講演 YMCAのミッション

ブリテン

- ・5月号、6月号内容報告

ファンド

- ・ファンド温泉気分報告

交流

- ・国際大会報告

EMC

- ・会則印刷・メンバー候補内田さん・仁科さん

メネット

- ・懇親会開催

第三回次期三役会・第二回役員会

2006年4月12日(水)18:00~21:00
YMCA 三条本館 202号室

会長主題発表

「の関係!」

会長方針

- ワイズメンズクラブとYMCAの理解
- 例会の工夫(ワイズソング、YMCAの歌、ゲスト等)
- クラブメンバーの増強
- IBC・DBCの締結の模索

確認事項・審議事項

- 年間スケジュール案
- 韓国・プサン国際大会参加の件
- 合同納涼例会開催の件
- 大阪センテニアルクラブより、合同納涼例会開催の申し入れがあったことについて、「西日本区の他クラブとの交流を深める」との主旨から開催する。
- 京都エイブルクラブとの合同新年例会開催の件
- 今回は他のクラブとの兼ね合いなどから見送る。
- CATT 合同例会の件 参加の方向で調整
- ブリテン委員会の呼称を広報委員会へ変更する件
- 『広報ブリテン委員会』という名称に統一。

委員会報告の書式統一

- 今期の書式が良いものだったので次期委員会でも引き継ぐ。
- 会長標語を会長主題で統一する件

その他

- ・次期役員会日程 5月15日 三条 YMCA 19:00~21:00
- ・次期三役会日程 5月9日

